☑ 2019 年度 事務事業評価（2018年度実施事業事後評価）シート ／ 2020 年度 実施計画調書 （ □ 新規 □ 拡充 □ 縮小 □ 休止・廃止 □ 現状維持 ）

1 事務事業の基本情報

☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は，代表的なものを1つ記入してください。また，該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合，代表的なものを1～2個記入してください。

整理番号	014																
事務事業名	ふれあいサポート事業	補助区分	□ 国補 □ 県補 ■ 市単	終期	□ 決まっている （ 年度まで） ■ 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	02	項	01	目	10	事業	02	
担当部	市民生活部	担当課	市民課	担当係	市民総合相談室	係											

位置付けられている計画等		根拠法令及び市条例等	
■ じょうそう未来創生プラン前期基本計画	□ 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」	□ 国の定める法律	（ 名称 ： ）
□ 常総市復興計画	□ 市民等からの要望	□ 国・県からの通達等	（ 名称 ： ）
■ 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略	□ その他の計画 （ 名称 ： ）	□ 市の条令・要綱・規則等	（ 名称 ： ）

2 事務事業の目的

☞ 当該事業を実施することで，①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で，「現状や課題」はどうなのか？→ ③そのためには何をするべきか？ という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	少子化の大きな要因である未婚化・晩婚化の流れに歯止めをかけるために男女の出会いの機会の提供や支援，結婚相談を実施している。常総市では，委嘱されたふれあいサポーターが連絡会を組織して「ふれあいパーティー（婚活パーティー）」を開催する等の活動を行っている。	誰・何を対象に	結婚を希望している概ね20歳から45歳以下の男女	望ましい状態	結婚希望している男女の出会いの場やふれあいの場を提供することを通じて，少子化の大きな要因である未婚化・晩婚化に歯止めをかけ，また常総市への定住促進を促し人口減少にも歯止めをかける。
		どのような方法・手順で	市の広報やお知らせ版，ホームページ，ふれあいサポーターによる個別相談，（一社）いばらき出会いサポートセンターのホームページにより，パーティーの開催について周知し募集を行う。		

3 事務事業の主たる成果指標

☞ 数値目標（定量）の設定が困難な場合は，文言目標（定性）でも結構です。なお，指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが，この場合，設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	成婚者数	単位	組	目標値	3	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方（又は指標・目標値を設定できない場合の理由）	この事業を通じて，1組でも多くのカップルが成婚に至ることができるように支援を行う。

4 事務事業の実績 Ⓓ

☞ 当該事業の予算を使って，『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお，業務が12個以上ある場合，代表的なものを最大12個記入してください。

年度	2016年度 業務名	活動量	2017年度 業務名	活動量	2018年度 業務名	活動量
事務事業を構成する主な業務	① ふれあい（婚活）パーティー	3回	① ふれあい（婚活）パーティー	3回	① ふれあい（婚活）パーティー	3回
	② 結婚相談（毎月2回 第1・3日曜日）	24回	② 結婚相談（毎月2回 第1・3日曜日）	24回	②	24回
	③ 連絡会議（月1回）	12回	③ 連絡会議（月1回）	12回	③ 連絡会議（月1回）	12回
	④		④		④	
	⑤		⑤		⑤	
	⑥		⑥		⑥	
	⑦		⑦		⑦	
	⑧		⑧		⑧	
	⑨		⑨		⑨	
	⑩		⑩		⑩	
	⑪		⑪		⑪	
	⑫		⑫		⑫	
	目標値に対する実績値	0 組	目標値に対する実績値	2 組	目標値に対する実績値	2 組
決算額	計 903,525 円	内訳 特定財源 円 / 一般財源 903,525 円	計 996,504 円	内訳 特定財源 円 / 一般財源 996,504 円	計 1,209,311 円	内訳 特定財源 円 / 一般財源 1,209,311 円
	（住民一人あたりの行政コスト）	15 円	（住民一人あたりの行政コスト）	16 円	（住民一人あたりの行政コスト）	20 円

5 担当者評価 Ⓒ

☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり	成果内容	ふれあいパーティーのカップル数は，3回開催し12組成立したが，その後成婚に至るケースは少なく，参加者を市内に限定していないので，追跡調査は難しい状況である。今年度結婚相談登録者の成婚は，2組成立したので，サポーターによる根気よい支援が実を結んでいると思われる。
問題点	カップル成立後，お付き合いをして成婚に至るというケースが少なく，どのように支援すべきかサポーターも苦慮している。また，女性の参加者が毎回少なく，開催が危ぶまれる場合もあるのでふれあいだけでなく，コミュニケーションの仕方や服装やメイク等のセミナー的なものを講師を招いて行うことも考えてはいる。しかしながら名の知れた人気のある講師への謝礼は，決して安くはないので，費用対効果を考え工夫が必要と考えている。		

6 担当部長及び担当課長評価 Ⓒ

☞ 担当部長・課長で協議のうえ，評価してください。

事務事業の方向性

□ 拡充 ■ 現行どおり □ 縮小 □ 休止・廃止

評価理由：結婚を希望する者同士の出会いの場の提供や結婚相談などの活動を精力的に活動しているが，成婚率が低い（市外在住の方との成婚は有り）のが現状である。
しかし，市が抱える少子化対策や人口問題（定住促進等）を解決する手段として，今後も同様な活動を積極的に継続していくことが望ましい。

7 実施計画 Ⓟ

☞ 今後3年間の事業内容について，どのようなことを・どの程度実施していくつもりなのか，具体的に記入してください。なお，予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	2019年度	2020年度	2021年度
事業内容	市長より委嘱を受けたふれあいサポーター（結婚相談員）が，少子化の大きな要因でもある未婚化・晩婚化の流れに歯止めをかけるために，男女の出会いの機会の提供や支援及び結婚相談を実施している。 ふれあいサポーターが連絡会を組織して趣向を凝らした「ふれあいパーティー（婚活パーティー）」を開催し，カップル誕生を通じて成婚につながるような支援を行っている。 【取組状況】 ・連絡会議（毎月1回） ・結婚相談（毎月2回 第1・第3日曜日） ・「ふれあいパーティー（婚活パーティー）」の開催（年3回） 【予算】 ・ふれあいサポーター報酬 756,000円（3,000円/月） 21名分 平成31年度委嘱数 17名（H31.3月末で4名退任により） ・結婚成立報奨金 90,000円 （結婚成立に貢献したふれあいサポーターに支給） ・ふれあいサポート事業運営補助金 300,000円 （基盤補助金としてふれあいサポーター連絡会に交付） ・いばらき出会いサポート負担金 74,000円	市長より委嘱を受けたふれあいサポーター（結婚相談員）が，少子化の大きな要因でもある未婚化・晩婚化の流れに歯止めをかけるために，男女の出会いの機会の提供や支援及び結婚相談を実施している。 ふれあいサポーターが連絡会を組織して趣向を凝らした「ふれあいパーティー（婚活パーティー）」を開催し，カップル誕生を通じて成婚につながるような支援を行っている。 【取組状況】 ・連絡会議（毎月1回） ・結婚相談（毎月2回 第1・第3日曜日） ・「ふれあいパーティー（婚活パーティー）」の開催（年3回） 【予算】 ・ふれあいサポーター報酬 648,000円（3,000円/月） 18名分 ・結婚成立報奨金 90,000円 1名につき30,000円 （結婚成立に貢献したふれあいサポーターに支給） ・ふれあいサポート事業運営補助金 300,000円 （基盤補助金としてふれあいサポーター連絡会に交付） ・いばらき出会いサポート負担金 74,000円	市長より委嘱を受けたふれあいサポーター（結婚相談員）が，少子化の大きな要因でもある未婚化・晩婚化の流れに歯止めをかけるために，男女の出会いの機会の提供や支援及び結婚相談を実施している。 ふれあいサポーターが連絡会を組織して趣向を凝らした「ふれあいパーティー（婚活パーティー）」を開催し，カップル誕生を通じて成婚につながるような支援を行っている。 【取組状況】 ・連絡会議（毎月1回） ・結婚相談（毎月2回 第1・第3日曜日） ・「ふれあいパーティー（婚活パーティー）」の開催（年3回） 【予算】 ・ふれあいサポーター報酬 648,000円（3,000円/月） 18名分 ・結婚成立報奨金 90,000円 1名につき30,000円 （結婚成立に貢献したふれあいサポーターに支給） ・結婚成立祝金（新設） 30,000円 ふれあいサポート事業に参加もしくは，ふれあいサポートに入会をされてる方が結婚した場合，1組に30,000円を支給する。 （但し，常総市に結婚後，引き続き3年以上住むことが条件） ・ふれあいサポート事業運営補助金 300,000円 （基盤補助金としてふれあいサポーター連絡会に交付） ・いばらき出会いサポート負担金 74,000円
成果指標	指標名 成婚者数 単位 組 目標値 3	指標名 成婚者数 単位 組 目標値 3	指標名 成婚者数 単位 組 目標値 3
予算額 歳出	計 1,220 千円	計 1,112 千円	計 1,142 千円
歳入	特定財源 千円	特定財源 千円	特定財源 千円
	一般財源 1,220 千円	一般財源 1,112 千円	一般財源 1,142 千円
	計 1,220 千円	計 1,112 千円	計 1,142 千円

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会（市民）の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。
少子化解消に向け，行政が実践していくことも一つの方策である。市内のイベントと連携し根気よく継続して欲しい。参加者の市内への定住促進を促し，費用対効果を高めて欲しい。

10 最終評価（行政改革推進本部） Ⓒ

事務事業の方向性

□ 拡充 ■ 現行どおり □ 縮小 □ 休止・廃止

評価理由：結婚を希望する者同士の出会いの場の提供は大切な事業である。財務アドバイザーの意見のとおり，予算の枠内において最大限の効果を上げ定住促進を図られたい。結婚相談も実施するため継続すべき事業である。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 Ⓐ

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容：